

成田市教育委員会会議事録

令和6年3月成田市教育委員会会議定例会

期 日 令和6年3月22日 開会：午後1時30分 閉会：午後2時32分

会 場 成田市役所6階中会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員（教育長職務代理者）	佐 藤 勲
委 員	片 岡 佳 苗
委 員	岡 本 秀 彦
委 員	日 暮 美智子

出席職員

教育部参事	保 立 和 彦
教育総務課長	伊 藤 真理子
学校施設課長	越 川 房 邦
学務課長	林 英 樹
教育指導課長	三 村 洋 一
生涯学習課長	野 村 貴 子
学校給食センター所長	福 島 由 規
公民館長	大 隅 光 夫
図書館長	高 仲 浩 一
教育総務課長補佐（書記）	神 崎 裕 一

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 岡本委員、日暮委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○3月7日、8日 校長人事評価面談について

年度初めに各校長から目標申告を受けた内容をもとに、今年度の実績を評価するための面談を行いました。面談の結果、市内の校長の指導力、学校運営能力は全般的に向上していると評価できる内容でした。というのも、自校の課題を明確にし、課題解決や克服のために方策を着実に実施し、学校経営の柱建てをしっかりと行っている様子が感じられたからです。現に、児童生徒の保護者から教育委員会に寄せられる学校運営に対する改善要求のうち、私にまで届いている件数は確実に減っているように感じています。

○3月9日 成田市生涯大学院卒業式について

第43期卒業生が卒業証書を受け取りました。今回卒業された皆さんは、入学時はまだコロナ禍で、様々な制約を受けていた頃でした。しかしながら、3か年皆勤者5名を含む64名の皆さんが無事に卒業されました。式典の前後に共に学び合った皆さんと一緒に写真を撮ったり、楽しそうに談笑している姿が多く見られ、大変良い雰囲気運営されてきたのだな、と思いました。担当された職員の皆さんのご尽力に感謝したいと思います。

○3月11日、14日、15日 成田市立小中義務教育学校卒業式について

11日は成田中学校の卒業式に参列しました。濱谷校長先生の子どもたちに対する深い愛情と思いが込められた式辞に感動するとともに、卒業生はじめ生徒のみなさんの素晴らしい態度や合唱にも感動を覚えました。式を参観された卒業生の保護者の皆さんもきっと同じ思いだったことでしょう。

学校の教員になったからには、こうした感動的な場面を自分が生み出していけるよう、普段から子どもたちの心に思いを寄せた指導を心がけてほしいと思いました。

14日は遠山小学校、15日は成田小学校の卒業式に参列しました。それぞれの学校では学校規模や地域の特色も違うため、比較できるものでもなく、また、比較すべきものではありません。

んが、学校全体で卒業式はどういう形にするのが良いのか、よく話し合っしてほしいと感じる場面もありました。

○3月18日 成田市ふれあいる一む21修了の会について

ふれあいる一む21在籍者28名中20名が参加して修了の会が行われました。今年度は出席児童生徒が多かったのと、保護者、在籍学校の担任や校長先生方も参加されていたため、部屋の広さの関係から誠に失礼とは存じましたが、教育委員の皆様には出席をご遠慮願いました。

この日は、指導員の皆さんが心を込めて作成してくださった修了証書を一人ひとりに渡した後、代表生徒の皆さんから修了の思いを語ってもらう場面がありました。ほとんどの生徒が、自分たちの面倒を見てくれた指導員の皆さんや、担当指導主事に対して、感謝の言葉を切々と述べ、指導員さん方も大粒の涙を浮かべておりました。例年になく熱い思いが伝わってきて私も感動しました。この子どもたちの未来が明るく開け、皆、生き生きと過ごせますように願ったところです。

○3月19日 令和5年度第1回成田市社会教育委員会議について

今年度第1回目の会議ということで、委員長、副委員長の選出を行い、引き続き 日暮 健委員長と 佐々木 英夫 副委員長が選ばれました。内容的には生涯学習課所管事業における課題について、ということで、明治大学・成田社会人大学の進め方について、若い方の参加を促すなど、より幅広い層の参加を期待して、令和6年度の事業方針案を示し、委員の皆様からご意見を伺う、というものでした。事務局では、年間を通しての受講ばかりではなく、スポット的に受けたい講義だけに参加する方式や高校生の受講料を無料にする案、本事業募集前にカリキュラムを事前公表する案等について提案しました。委員の皆様からは、高校生の参加を見込むなら土曜日であっても午前中の講義への参加は難しい、若い世代向けの講義内容にする、少人数の講座はどうか、高校生が受講した時には受講証明書というようなものが欲しい、等のご意見をいただきました。

市議会

○2月22日～3月21日 令和6年3月定例会について

今議会に教育委員会から提案した議案は補正予算のみでしたので、議案審議に直接参加する機会はありませんでした。また代表質問を含む一般質問では11人の議員さんから質問を受けました。これらは、ケーブルテレビでも放映していましたのでここではその詳細については触

れませんが、給食費の無料化、不登校問題に関連する質問、教職員の働き方改革等々、これまで何度も質問を受けていた内容が多かったように思います。ただ、私が今議会でも、答弁をしながら感じていたのは、最近は子どものためと称して、手厚い支援を求める声が高くなっていることです。至れり尽くせりで、本当にこれで良いのか、と疑問に感じることもあります。教育は人づくりです。子どもはどのような環境で育つことがよりよく育つことにつながるのか、「教育の在り方」「子どもへのかかわり方」を今一度考えていかなければならないと思った次第です。

○3月6日 教育民生常任委員会

常任委員会において教育委員会からの提出議案はありませんでしたが、報告事項として「物価高騰による給食費の改定及び児童生徒の給食費の据え置き措置について」と「学校給食センター本所再整備のスケジュール等について」の2件を報告させていただきました。

○3月11日～3月14日 予算特別委員会

教育費予算については、13日の午後から審議が開始されました。日本語補助教員の配置について、関連して日本語学校設立についての考えは、といった質問に始まり、教育振興基本計画、学校図書館司書の配置について、コミュニティ・スクール、事故対策教員、特色ある学校づくり、デジタル採点システム、体育館への空調整備や照明のLED化等々について様々な質問をいただきました。それぞれ担当課長において的確に答えていただきました。

その他

○2月18日 成田市青少年相談員連絡協議会60周年記念祝賀会について

成田市に青少年相談員連絡協議会が発足して60年目を迎えるということで、これを記念する祝賀会が開かれ、私も出席してまいりました。青少年相談員といえば、小学生の綱引き大会と夏休み中に開催される中学生のオールナイトハイクが代表的な行事としてすぐに思い浮かびます。どちらも他市にはない成田市独自の行事で、実施に際しては大勢の青少年相談員さんの並々ならぬご尽力があります。これらの行事は子どもたちが本当に楽しみにしている大きな行事でもあり、これからもできる限り、続けてほしいと願っている行事です。大勢の青少年相談員さんを束ねるのはなかなか大変なことだと思います。この日は青少年相談員連絡協議会の歴代会長さんも出席しており、それぞれご自身が会長だった時の思い出を語っておられました。様々なご苦労はあるとは思いますが、今後も子どもたちに対する変わらぬご支援をお願いしたいと思いました。

○2月20日 千葉ロッテマリーンズベースボールチャレンジ報告会について

今年も市内の小学校5校で4年生を対象にしたベースボール型授業を行いました。この授業は、元ロッテの選手の皆さんをコーチとして迎え、子どもたちに教えていただくプログラムで、毎年4～5校の小学校で計画的に実践しているものです。この日は、千葉ロッテマリーンズ振興部アカデミーグループの皆さん3名でお出でになり、今年度の実績報告をしてくださいました。この授業を通して子どもたちがベースボールゲームの楽しさを味わうとともに、ボールを投げる力が確実に向上していることから今後も引き続きこの事業を継続していきたいと考えています。

○2月24日 千葉ロッテマリーンズ成田後援会創立20周年記念事業について

成田に千葉ロッテマリーンズの後援会が発足して20年を記念し、千葉ロッテマリーンズ成田後援会主催の記念事業が成田国際文化会館で行われました。関係者へ感謝状が贈られた後、元千葉ロッテの捕手だった里崎智也氏の記念講演、そして、野球場での応援で「美爆音」とも言われて素晴らしい演奏をしてくださった習志野高校吹奏楽部の演奏が披露されました。千葉県高校吹奏楽部の技術力は全国でも非常に高いレベルにあり、県代表校は全国高等学校吹奏楽コンクールで金賞の常連校となっています。その代表に何度も選ばれている習志野高校の演奏は本当に素晴らしいものでした。演奏会慣れしていることもあるのですが、この演奏だけで1時間以上、十分に楽しむことができるほどの内容でした。また、感心したのは、いわゆるコンクール用の演奏と、野球場での演奏はその音量はじめ、演奏時の表情もはっきりと使い分けられていることでした。とにかく素晴らしかったです。

○3月3日 成田市制施行70周年記念NHK交響楽団成田公演について

同じく成田国際文化会館で市制施行70周年を記念してNHK交響楽団の公演がありました。フルオーケストラが入るには狭すぎる文化会館のステージを前方に広げて実施されましたが、それでも楽団がステージに入るのがやっとの状態でした。演奏の感想ですが、その場で聴かれた方もいらっしゃると思いますので簡単にお話ししますが、とにかく「素晴らしい」の一言です。私もこれまでいくつかの著名な交響楽団の演奏を聴いたことはありますが、N響は初めてで、とても楽しみにしていました。心地よい時間を過ごせました。また、できれば、ホールの音響効果をもっと高めた空間で聴きたかった、と思いました。

○3月6日 千葉県立下総高等学校令和5年度第76回卒業式について

下総高校の学校運営協議会委員ということで、久しぶりに高等学校の卒業式に参列してきました。

3学科、54名の卒業生でした。下総高校は毎年志願者数が定員に満たず、今後、学校の存続が危ぶまれている学校ですが、園芸、自動車、情報処理という3学科の専門高校として先生方が熱心に指導されている学校です。この日の卒業式は全校生徒数が少ないせいか、全般的に元気が感じられない雰囲気もありましたが、校長先生の生徒たちを思う気持ちがあふれ出た式辞に感銘を受けました。

○3月10日 「歌おう♪「第九」 in NARITA」記念演奏会について

「もりんぴあこうづ」の主催行事で、市民の方によるベートーベン作曲 交響曲第9番 ニ短調 作品125、いわゆる「第九」の第4楽章で歌われる合唱が披露されました。合唱に参加された市民の方の中には現職教員や現在も学校の子どもたちや合唱団で指導をされている指導者も含まれ、多彩な顔触れとなっていました。演奏は2台のエレクトーンで2人の奏者が素晴らしい演奏を奏で、あたかもオーケストラによる演奏のようでした。多くの観客の皆さんの拍手が演奏の素晴らしさを物語っておりました。

○3月18日 叙位叙勲の伝達について

成田中学校の校長を最後に定年退職された 木村 忍 先生がお亡くなりになり、ご家族に叙位、叙勲を伝達しました。木村先生は、市内西中学校の教頭のご経験もありましたが、私が成田市教育委員会に着任した平成18年にご退職されており、直接ご一緒に仕事をした経験はありませんでしたが、学校訪問や人事関係で何度かお話しする機会もあり、大変誠実な方だという印象をもっておりました。ご退職されて18年。ご冥福をお祈りしたいと思います。

○3月18日 成田市学校栄養士研修会について

学期に一度実施している栄養士研修会です。今回も各調理場の状況を伺うと、施設の老朽化に伴う問題がいくつも指摘され、現場の困り感を共有したところです。とりわけ、玉造本所、分所、下総、大栄の4つの調理場は、施設の老朽化だけでなく調理機器の故障なども課題となっています。栄養士の皆さんからは調理機器の定期点検を強く望む声がありました。

○3月22日 令和5年度成田市防災会議について

本日、午前中に市の防災会議がありました。「成田市地域防災計画」において、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進計画を定めるための修正を行うため、また、気象情報の改訂に伴い、記録的短時間大雨情報及び線状降水帯に関する事項の追記と、市職員の警戒配備の配備基準に、長周期地震動に関する事項を追記したこと、また、文言や名称の修正などがあったため、会議を開いて内容を確定したところです。

本年1月に能登半島地震で大きな災害が発生したこと、加えて、最近では房総半島沖でスロースリップと呼ばれる現象が発生しており、千葉県は大地震がいつ発生してもおかしくない状況にあることなども鑑み、防災計画に不備が無いようにすることは大変重要です。この日は地域防災に関連する国や県の出先機関、銚子気象台警察署等からそれぞれの責任者の方々が参加されておりました。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：私からは卒業式に参加した感想を述べさせていただきます。13日に遠山中学校、15日に吾妻小学校の卒業式に出席させていただきました。どちらも来賓控室というものは設けておりませんでしたが、遠山中学校では、事前に文書で式の流れを送付いただいておりますので、あらかじめ動きを把握することができました。吾妻小学校では、校長室で教頭先生から式の流れ等を個別に打ち合わせる時間を設けていただきました。感染症の不安が払しょくされていないのでそういう形にしたのか、これからはこの形にしようと考えたのかはわかりませんが、運営の変化を感じるものでした。また、遠山中では小池県議と神崎議長、吾妻小では雨宮県議も出席されておりました。コロナ禍前に比べてそこまで省略しなくてもよいのではと感じることもありましたので、厳粛な雰囲気を壊さずに、省略する時にはそれに替わるような工夫をしたりすることで、省略ということを感じさせないような効率化が大事なのかなと感じました。どちらもいい卒業式でした。

片岡委員：私も卒業式に参加した感想を述べさせていただきます。我が子も今年中学校の卒業

式でありましたので、西中では保護者の立場で参加しました。当日はとても厳かで、中学生らしい卒業式であったと思います。子どもたちも合唱も感動しましたし、送る言葉もとてもよかったです。当日は風がとても強く、体育館内でも風の音を感じるほどで、寒い日での卒業式でした。15日は、教育委員の立場として、新山小学校の卒業式に参加してきました。アットホームな雰囲気、1年生が泣きながら贈る言葉や合唱している様子を見まして、1年生から6年生までが関わりが強いことを感じました。また、卒業生が壇上でそれぞれの目標を発表する姿を見てうれしくなるとともに、感動いたしました。

岡本委員：玉造中の卒業式に参加させていただきました。とても素晴らしい式典で、特に合唱が感動的でした。式典で感じたこととしては、男子・女子で別れて座っていましたが、きっちりと区別して座らなくてもよいのではと感じたところです。

日暮委員：私は、13日に下総みどり学園、15日に中台小の卒業式に参列してきました。

両校とも心のこもった感動的な式で、それぞれの実態や特色を活かしたものとなっていました。具体的には、下総みどり学園では在校生1年生から8年生までが参加して、全員で卒業生を送り出すことができました。1年生に配慮しコンパクトにまとめられて工夫されておりました。また、中台小学校では在校生は4・5年生が参加しました。どの学級も1学級でしたが、校歌の歌声が素晴らしく、校長先生から伺いましたが、在校生がこれまで以上に頑張ったので、卒業生も刺激されたとのことでした。全校での参加ではなかったのですが、とてもよい卒業式でした。

別件ですが、広報なりたに三里塚小学校の赤レンガ門の県登録文化財の記事が掲載されておりました。文字が多いページに写真が載っていたので、際立っていて、とてもインパクトがありました。

コロナ禍で地域と学校の関わりが少なくなっていると感じています。このような中で、学校が広報に取り上げられるということは、地域住民にとってもありがたいことと感じていると思います。

佐藤委員：卒業式で名簿は男女混合にしていることに対して、座席は男女別となっている理由
は何かあるのでしょうか。

関川教育長：卒業証書は男女別の授与ではないと思います。その後の合唱等に備えてあらかじめ分けて座っているものと考えます。

三村教育指導課長：各学校では卒業証書の受領後の着席位置を合唱のパートごとにするなど、
並びにも工夫しているところもあります。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号並びに議案第2号、報告第1号については、成田市教育委員会会議規則第20条
第1項の規定により非公開により審議する。

《これより非公開》

議案第1号「成田市教育委員会職員の人事異動について」

《審議結果》

承 認

議案第2号「成田市健康管理医の委嘱について」

三村教育指導課長：

健康管理医の委嘱につきましては、成田市立学校職員安全衛生管理規程第7条第1項において、
学校職員数50人以上の学校に「健康管理医」を置くと定められています。

これにより、令和6年度の職員数が配置基準に達する見込みとなりました公津の杜中学校、下総みどり学園、大栄みらい学園の3校に健康管理医を委嘱しようとするものです。

本件の委嘱につきましては、成田市立学校職員安全衛生管理規程第7条第2項により、学校医のうちから、校長の推薦を受けた学校医について、教育委員会が委嘱することになっています。推薦に当たっては、成田市学校保健会の意見も参考にいたしました。

学校医の任期は令和6年3月31日で満了となり、令和6年4月1日から新たに委嘱します。その学校医のうちから、各学校長の推薦を受けた委嘱者がお手元の資料になります。

公津の杜中学校は、渡邊 剛毅 医師、下総みどり学園は、矢野 潔 医師、大栄みらい学園は、村上 義彦 医師の、以上3名について委嘱をご提案させていただきます。

なお、任期につきましては令和6年4月1日から令和8年3月31日までとなります。

《議案第2号に対する質疑》

岡本委員：50名以上の学校はこの3校で、他は49名以下ということでしょうか。

三村教育指導課長：はい。その通りです。

岡本委員：一般企業の場合、産業医を置きますが、健康管理医の方は、産業医の資格をもっておられますか。産業医は、復職の面談や職場の安全を守る知識を持っている方になります。健康管理医の目的は、職員のメンタル含め心身の健康を管理する立場となりますので、本来は産業医の資格を有する方のほうがよいかと思います。

三村教育指導課長：健康管理医の規定では、産業医の資格を有するものとするとの定めはありませんが、状況を確認させていただきます。

岡本委員：職員数49名以下の職場へのサポートはどうなっていますか。

三村教育指導課長：毎年、ストレスチェックを行うとともに、スクールカウンセラーや学校医へも相談できる体制を整えております。また、健康診断の結果を基に学校医による面談も行っております。

岡本委員：ストレスチェックを受けた後の流れはどのようなになっていますか。

三村教育指導課長：本人への結果通知や学校単位での分析のほか、希望する職員には医師との面談をする機会を設けております。

岡本委員：この結果から様々な状況を把握することができます。休職等を未然に防止することも可能となりますので、個人情報等に留意しながら上手に活用されることを希望します。

関川教育長：その他、特にないようですので、議案第2号「成田市健康管理医の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。
挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

（2）報告事項

報告第1号「成田市立小中義務教育学校県費負担教職員の人事異動について」

《非公開を解く》

6. その他

特になし

7. 教育長閉会宣言